

町勢状況

昭和44年12月末現在

世帯数 1,514戸

人口 5,815人

男 2,789人

女 3,026人

広報たし3

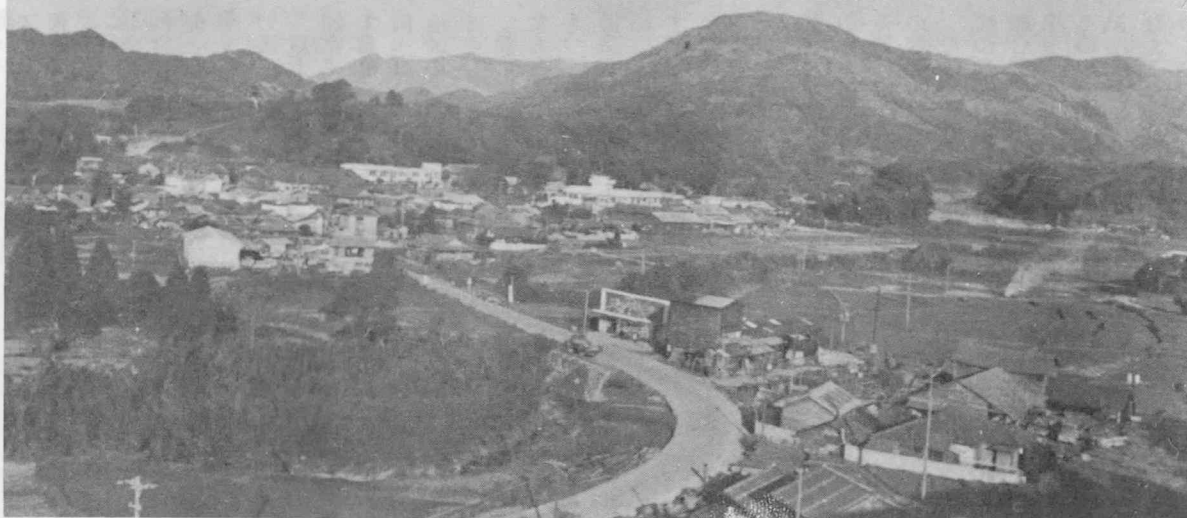
No. 208

昭和45年

1月号

田代町総務課編集 毎月5日 1700部発行

謹賀新年



新しい年を迎えた麓役場附近

広報のしおり

新年あけましておめでとうございます。

一九七〇年という年は、好むと好まざるとにかかわらず、あらゆる意味で重要な年といえましょう。

衆院選と大売出しでそうぞうしかった年末を終り、静かな正月を迎えました。

しかし、お正月はおめでたくやっぱりのしく過ごしたいものです、そうするためには、家族ぐるみ、気持を合せていかなければいけません。

数年前に比べて一週間も十五日までも年始廻りをする人も少なくなりました。

三日をすぎますと四日からまた仕事です、町の仕事場では四日は日曜で五日からの仕事始めが多いのですが私達の農村地帯では日曜も祭日もなく、みなさん本当に勤勉です、農家の収入も安定して都会なみに日曜、祭日をたのしめる時代が一日を早くきてもらいたいものです。

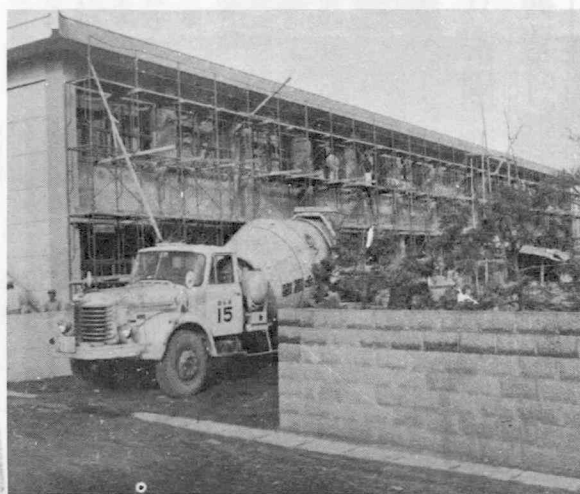
一月のこよみ

行事予定

- 1日 元日
- 5日 御用はじめ
- 6日 成人式
- 7日 学校始業式
- 9日 議会経済建設委員会生活保護費支給日
- 10日 消防出初式
- 12日 民生委員会
- 15日 成人の日
- 16日 田代校区婦人学級
- 20日 永寿会（川原地区）
- 21日 農林センサス調査説明会
- 21日 献血（高校・一般東部地区）
- 23日 永寿会（麓地区）



⑥大原小学校鉄きん校舎建築進む
（工費3450万円、2月完成）



⑦麓土地改良区発足（12月8日）
（向うに見えるは山下部落）



⑧盤山地区緑茶集団産地県指定（盤山地区）



③消防会館、商工会館落成
（3月20日 工費369万円）



④麓分団に大型消防車配備
（10月1日 価格250万円）



⑤田代小学校貯蓄組合
大蔵大臣賞を受く



年頭の御あいさつ

町長 原 順



明けましておめでとう
ございます

四三年はまことに苦しい年でありました。そこで四四年の年頭に私は改めて勤儉貯蓄をはかり、借金をへらすことを提案しました。

四四年は仔牛格価の下落などありましたが一応の豊作型であり、皆さんの考え方も変わったためか大部借金の整備も進んで来たようで、まことに喜ばしいことでもあります。

栽培するものは今後集団地をつくり大型機械による機械共同化をはかる。そのために耕地整理をすすめる、

本町としては現在迄の経過から考え、茶と養蚕が集団化すると相当の富農改善

がすすむと思われるのでこれを中心として富農の改善を考える。

畜産については価格の下落を考慮し、今後共同放牧経営の改良と浸透をはかり、何としてでも引合う畜産体型を自分達の手でつくり上げる。

以上のような考え方で集団化、機械化の進むにつれて意欲のある人は通勤耕作例へば、麓や川原から大原地区の茶の集団地に通勤するというわけです。

麓の耕地整理の出来上ったあとは、米だけでなく花もつくる、牧草もつくる、園芸もやる、というように幅広く活用をする考え方で、この耕地整理事業は将来田代町全体に及ぼす決意であります。

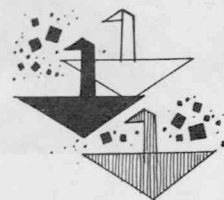
将来にそなえて道路も県、町道共々積極的な改良をはかりやがて農道舗装も考える時代です、皆様方の一層の奮起をお願いします。

ただいま町では将来の田代の方向を定める「田代町総合振興計画」をつくる仕事をすすめておりますが、その中ですべての学校は鉄きん校舎にし、プールもそなえる、道路の舗装もすすめる、中央公民館をつくる

とかいうような計画を考えており、これらのことについては改めて詳しく皆さんにご説明したいと考えております。

田代高校の将来についても目下県立に移管してもらいうような努力をしている最中であり、これらを考えますと今後の田代町は一層忙しいことになりましょう。しかしなにごとも自分達で考え自分達で努力するところに国や県の援助もあるので、くれるのを待つものではありません。

最後に、わたしたちの郷土繁栄のために、ことしも力を併せて頑張らしましょう。



「広報たしろ」を職場に

町外で働いておられる方に「広報たしろ」を送りたいと思います、役場広報係へ連絡ください。

昭和44年町内十大ニュース

② 与論町との姉妹町盟約
（6月7日）



① 電話の普及率50%突破
（7月25日より即時通話）



議会だより

昭和四十四年第七回議会
定例会は十二月十六日と二十日に本会議が開かれ、つぎの七議案が原案通り可決され、昭和四十三年度各会計の決算は決算特別委員会に付託されました。

◆可決された議案

- ① 田代町税条例の一部を改正する条例の制定
- ② 昭和四十四年度田代町一般会計補正予算
- ③ 昭和四十四年度田代町国民健康保険特別会計補正予算
- ④ 昭和四十四年度田代町簡易水道事業特別会計補正予算
- ⑤ 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定
- ⑥ 田代町報酬及び費用等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ⑦ 鹿兒島県町村職員退職手当組合規約の一部改正の議案のおもな内容を説明いたしますと、まず税条例の改正は、譲渡所得の課税の特例に係る一部改正にともなう、町税条例の一部を改正したものであります。

つきに各会計の補正予算

寄附くださいました。みなさま方とともに謹んでお悔み申し上げるとともに厚くお礼申し上げます。

御遺族

下部落隈元実男様は去る十月二十二日、馬場部落上田徹志様は十月十二日、表木の門前栄吉様は十一月二十三日、山下部落の中園重雄様は十二月八日、猪鹿倉部落の山元順一様は十一月十一日、橋ノ口部落の中原藤助様は十一月十六日それぞれ死去されましたが、その忌明けに当り御遺族様より次のとおり町の社会福祉協議会に香典返しとして御	功様より 一〇、〇〇〇円	門前 四男様より 五、〇〇〇円	中園 ノブ様より 二、〇〇〇円	山元 砂雄様より 二〇、〇〇〇円	中原 鶴夫様より 五、〇〇〇円
---	-----------------	--------------------	--------------------	---------------------	--------------------

以上

新春のご挨拶

議長 押川熊次郎

町民の皆さん明けましておめでとうございます。客年は史上初めての年末総選挙であつた新しい年の暮にはありましたが、選挙も無事に終り、一九七〇年と云う日本の新路に重大な意義を持つ第一歩の年になりました。

この選挙の持つ意義を深くかみしめて皆さんと共に今後の町政に取組む覚悟を新たにいたしました次第であります。

顧りみますと昨年は我が田代町と与論町とが歴史的な姉妹町の盟約を結びました。

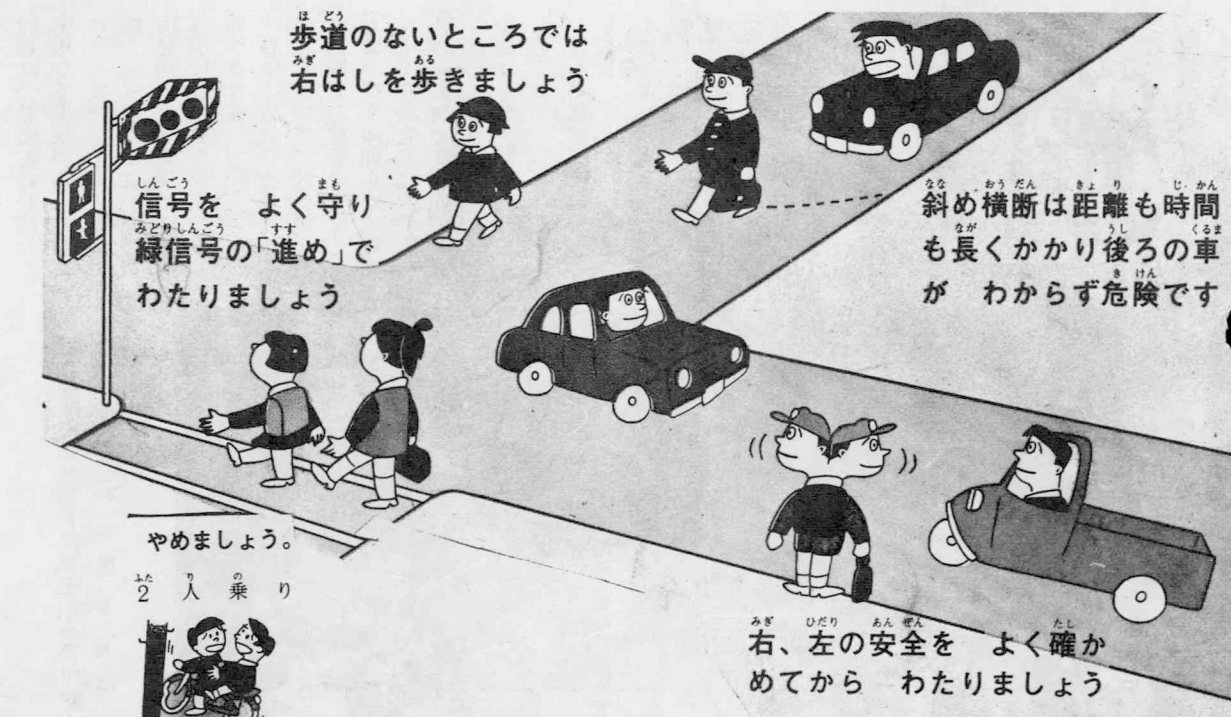
又電話増収は、二戸に一個の割合で普及せられ全国的にも最高水準に達するなど十大ニュースにも見るような重要な事柄が見事結実いたしました。

給与勧告にもつき、国家公務員に準じて地方公務員も六月にさかのぼり一般職員の給与を改訂する補正がおもなもので、その他は、川原地区の運動場敷地（保育園附近）購入費、開拓者離農補助金、稲作特別対策事業補助金、（町道）早瀬／瀬戸口線（猪鹿倉地内）の災害復旧費などで一般会計の補正総額は一千三十五万五千円でした。

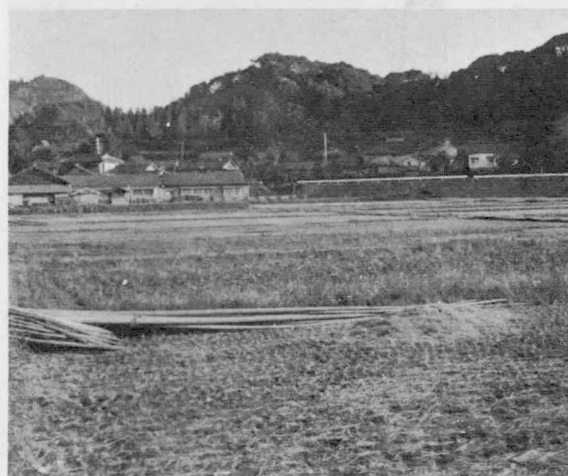
なお今回で本町の予算の規模は二億一千七百五十七万五千円となりました。

『家庭内の問題でお困りの方は』

離婚、離縁、認知、慰料、相続、扶養、財産分与など家庭内の問題でお困りの方は、
鹿兒島家庭裁判所、鹿屋支部（鹿屋市打馬町一丁目二番一四号）では毎日（日曜、休日を除く）無料でご相談に応じておりますので、いつでも家庭裁判所にお越し下さい。



⑩川原地区総合グランド設置決る
（保育園附近）（面積38a）



⑨花瀬、新田線農免道完成（大原小学校附近）



たしましたことは、町民のご協力の賜物で、同様にたえません。

新しい本年からは姉妹町盟約の本旨に副い有形無形有無相通じて文化経済等諸々の交流を図り、両町の飛躍発展を期せねばなりません。

又年末には、明治以来永い間宿願の麓地区圃場整備事業が起工されましたが、この事業は、今後数年間の歳月と巨額の投資を要し、現下重大な農政の転換期に際し当局者並関係者の利害得失を超越しての固い結束と熱意がなければ遂行困難な世紀の大事業であります。

更に田代高等学校は、来る本新学期から現在の場所に移転し、新築校舎が完成し、がつかました。然しこれは、県議会並に町議会の議決を必要としますので今後幾多の苦労も伴いますが、教育委員会及び学校当局者の協調努力と相まって、有終の美を期せねばなりません。

因に我が町議会は昨年中一〇〇%の出席率を示し、同研さんこれ努め議会民主主義に徹し、使命遂行に最も

農業委員会からのお知らせ

巡回相談所を開設します

規模拡大を希望する農家の、農地の確保を円かにし、また不安定な兼業農家の安定向上と、他の仕事への転業の円かつ化、また農繁期の労働力の調整活動を行うため農業委員会の巡回相談所を開設することになりました。

※相談、説明事項。

- 一、農外就業、出稼、離農等に関する事。
- 二、農繁期労働力の確保などについて。
- 三、土地利用計画図について。
- 四、農地などの利用、売買、転用などについて。
- 五、所有権移転、相続などについて。
- 六、農地取得資金、自作農維持資金の借入について。
- 七、農地集約化について。
- 八、その他農業委員会に関係すること。

日どりは後日、小組合長さんを通じて連絡いたしますが、一月の十二日頃から大原、川原、麓の順に二、三部落をいっしょに行なう計画であります。

またこの機会に次の事項についても相談をうけたり説明をしたりいたしますので多数おいでくださるようお願いいたします。



年頭のごあいさつ

与論町長 龍野通雄



昭和四十五年の新春を迎えるにあたり謹んで田代町の皆さんの弥栄を壽ぎ奉ります。

昭和四十四年は再び相まみえることのない永遠の彼方へ過ぎ去ってしまいました。

しかし私達の胸には永久に忘れ得ない数々の思い出が残っております。

ことに貴田代町との姉妹町盟約の式典は永久に忘れ得ない思い出として町民の胸に深く刻み込まれております。

思えば大東亜戦争末期、国策にそい大志をいだいて勇躍渡満した盤山開拓団一同が、敗戦の憂き目にあい夢と希望を失い、言語に絶する危難を冒し命からがら満州から引揚げ、世情混沌

たる異郷の地にありて、永住の地を求め盤山にたどりついてより苦節二十有余年、町ご当局のご配慮と町民皆さんの友情と温情に守り育てられ、ようやく一人立ち出来るまでに成長した物語は、なみなくしては聞けない物語であり、殺伐たる世相に生きる現代子の想像もできない人間愛の心ずいに触れた感じがいたします。

このように大恩ある貴田代町と姉妹町の盟約を結ぶことができたことは、当町の最も喜びとするところであります。

この盟約のため農村振興センターの落成式にご参列の用件も兼ね昨年六月、原町長さんをはじめ議員団による使節団のご来島を仰ぎ、去る十一月は私をはじめ議会代表一行七名が答礼のため貴町を訪問いたし、町議会ご当局をはじめ各界の皆さんと交友を深める機会を得たことは私達の光栄とするところであります。これで貴町との姉妹盟約

に関する儀礼的行事は一応すんだわけであります。さて今年は盟約文にもありますように、田代町民と与論町民は、産業・文化・教育等あらゆる分野において緊密なる交流を図ることにより、相互理解と協力の精神をつちかい、田代町と与論町の相互の繁栄幸福に寄与せねばならない年であります。

どの分野からの交流をはじめめるか、両町の事務局で具体的に検討され、両町繁栄のために意義ある行事を計画していただきたく念願する次第であります。

顧みますに昭和四十四年は、大学紛争や安保と沖縄返還等国をゆさぶるような論争で終始した年でありました。

しかし沖縄の復帰という

問題は、歴史的に経済的に密接なる関係にあった当町にとつては最も身近な問題であり、ここに沖縄の祖国復帰という現実の問題を目前にし、感慨無量なるものがあります。

私は当町の立地条件からいたしまして、飛行場・海中公園等の建設を急ぐとともに、将来沖縄を結ぶ観光ルートを設定し、田代町の皆さんの当地ご訪問の意味を深めるように努力して参りたいと存する次第であります。

願わくば田代町の皆さん、今年こそ田代町と与論町の交流の第一歩を飾るにふさわしい年でありますように、皆さんのご指導をお願いしてやまないものであります。最後に田代町のご繁栄と町民皆さんのご健康とご多幸をお祈りいたしまして年頭のごあいさつといたします。



姉妹町盟約答礼に参上の与論町長の一行 花瀬公園を見学



成人の日の祝電は 早目に!!

△お望みの時間に配達をご希望のときは「配達日時指定電報」を。 十日前から受付です。

△翌日配達電報として前日にうつことが出来ます。 料金も普通電報の半額です。

△十四日、十五日の両日は大変ごみです。なるべくもよりの郵便局の窓口を利用ください。



冬の青少年を守る運動に 参加しましょう

年末年始は家庭的にも社会的にもあわただしい時期で、青少年に対する配慮が十分にゆきとどかない面があり、青少年自身もまたこのあわただしさに包まれ、日常生活の規律がみだれがちになります。 それで県民こそって青少年に対する関心を高め、「

一毛田橋のかけ替工事進む (2月完成予定)



冬を青少年を守る運動に

参加しましょう

明るく正しい「日常生活をさせ非行化の防止をはかり、めぐまれない子どもには愛の手をさしのべる運動を推進し、

すべての青少年が年末年始を明るく健やかにすごすよう、ご協力をお願いいたします。

スポーツ少年団年末 たすけあい運動に協力!!

大竹野 ミエ子



池野スポーツ少年団

二十八名

団長 水 流 四 男
指導員 波 瀬 幸 雄
上 宮 園 幸 雄
田 史 朗 榮

昨年六月十日、スポーツを中心として、健康で明るい少年をめざして、結団されたスポーツ少年団は、めぐまれない人々のための歳末たすけあい運動に協力、街頭に立って募金をしてくれました。

皆さんの協力もあり二万円近くを募金して、町の社会福祉協議会に寄附していただきました。

今後この少年団が正しく強く育つよう御指導ください。

スポーツ少年団の名まえ 西中郡スポーツ少年団

三十五名

団長 西 川 守
指導員 上 温 湯 時 義
塞 野 昭 広

世界農林業センサスに

ご協力ください。

農家の皆さん来る二月一日を中心に、全国一斉に十年に一度しか行なわれない農業と林業に関する全国的な調査が行なわれます。是非ご協力ください。

調査員が皆様のお宅を訪ねて質問しますが、調査のことは絶対に秘密が守られます。税金がふえるなど心配をなさる必要はありません。統計以外に使った場合

には法律により処罰されます。調査はお宅の農業や林業、その他の仕事の状況や経営耕地面積とか作物別の収穫面積、家畜の現在の頭羽数、農機具の台数など、農林業のために雇った人数、山林面積や植林の状況などが主な調査の項目です。

年末年始には次のことを 守りましょう

1. 年末年始の浪費をつつしみ貯蓄しましょう。
+ 虚礼的な贈答品のやりとりはやめましょう。
2. 家の内外、道路、広場などきれいにしましょう。
3. 交通^{道徳}法規を守り事故を防ぎましょう。
(無免許、飲酒運転、スピード違反)
4. 年の始めにはっきりした一年の計画をたてましょう。
5. 部落年始会は簡素にし回礼は近親者間にとどめましょう。
(夜間の訪問は遠慮しましょう。)
6. ^{祝日に}正月は国旗をかかげましょう。(国旗をもつけよう)
7. 正月は家庭本位にしてたのしく過しましょう。
8. ^{7. 七五三}七草祝いは子ども本位にして意義深~~く~~簡素にしましょう。
9. 成人式の~~服装~~^{道徳}はできるだけ簡素な服装で参加しましょう。
10. あたたかい人間関係をきずくため自分から先にあいさつしましょう。
11. 住みよい社会をきづくためにすすんでみんなに親切をつくしましょう。
12. 不衛生な、さかづきのやりとりは、やめるようにつとめましょう。

